

11/11-17 #10 ヨハネ福音書に啓示されている栄光と  
栄光を現すこと **Bird's Eye View** 栄光は神の一つの属  
性です。栄光は神の表現、光輝において表現され  
た神です **II** 神の栄光は、神のエコノミーと内在的に  
関係があります **A** 三一の神は栄光の神です。使徒  
7:2 私たちの父祖アブラハムが... メソポタミヤにいた  
時に、栄光の神が彼に現れて、**B** 神の永遠の目標は、  
彼の多くの子たちを栄光へもたらすことです。**C** 人が  
神によって神のかたちに創造されたのは、人が神  
の栄光の中で神を表現するためです。**D** 罪を犯す  
ことは、神の栄光に欠けること、こうして罪と罪深い  
自己を表現すること、神の栄光よりも人の栄光を愛  
することです。**E** キリストの贖いは、神の栄光の要求  
を満たしました。**F** キリストの栄光の福音を通して、  
神は彼の永遠の栄光によって、私たちを彼の永遠  
の栄光へと召しました。**G** すべてを含むキリストは、栄  
光の望みとして私たちの中に住んでいます。**H** 私た  
ちは主の栄光を見つめ、そして反映するとき、栄光  
から栄光へ、主のかたちへと徐々に造り変えられて  
いきます。**I** 神の有機的な救いの目標、またこの救  
いの最後の段階は、栄光、すなわち私たちの栄光  
化です。ヘブル2:10 万物がその方を通して存在す  
る方が、多くの子たちを栄光へ導き入れるのに、彼  
らの救いの創始者を、苦難を通して成就されるの  
は、彼にふさわしいことでした。**J** 神の建造は、三一  
の神が私たちの中へと造り込まれて、私たちが彼の  
栄光ある団体的な表現となることです。**K** 神の王国  
と神の栄光は分離され得ないので、神の栄光は来  
たるべき王国の中で現されます。**L** 新エルサレムの  
顕著な特色は、それが神の栄光、神の表現を持っ  
ているということです。新エルサレムの都全体(一人  
の団体的なパースン)は、神の栄光を帯びており、  
それは神ご自身が都(彼の妻)を通して輝き出るこ  
とです。啓21:11 それは神の栄光を持っていた。そ  
の光は最も尊い宝石のようであり、水晶のように透  
明な碧玉のようであった。**M** 神のエコノミーにおいて、  
神の栄光は神聖な啓示の高嶺と関係があります。  
すなわち、神が人と成ったのは、人が神格において  
ではなく、命、性質、表現において神となるためであ  
るということです。**N** 神のエコノミーの目標は、私たち  
がみな神の栄光を輝かし出すことです。**III** 神の栄光  
は、キリストの肉体と成ること、人の生活、十字架、  
復活、昇天、再来、彼が新エルサレムでともし火で  
あることと関係があります **A** 主イエスは彼の生活と働  
きにおいて、ご自身の栄光を求めたのではなく、彼を  
遣わした方の栄光を求めました。ヨハネ7:18 自分か  
ら語る者は、自分の栄光を求める。しかし、遣わさ  
れた方の栄光を求める者は、真実であり、彼の中  
に不義はない。**B** キリストの復活において、彼の栄光

は現されました。**C** キリストの昇天において、彼の栄  
光は現されました。主イエスは「川を渡って」神の栄  
光へ入った人の模範であり、栄光の中で彼は栄光  
と尊貴を冠として与えられました。**D** 主は人の子とし  
て、御父の栄光の中で来ます。マタイ25:31 しかし、  
人の子が彼の栄光の中で、またすべての御使いが  
彼と共に来る時、彼は彼の栄光の御座に着く。**E** 永  
遠における新エルサレムにおいて、ともし火としての  
小羊であるキリストは、光としての神をもって輝き、  
神の栄光、すなわち神聖な光の表現をもって新エル  
サレムを照らします。**IV** ヨハネによる福音書にお  
いて、私たちは主イエスの栄光と栄光を現すことを見  
ることが出来ます **A** 「私たちは彼の栄光を見た。そ  
れは、父からのひとり子としての栄光であった」(ヨハ  
ネ1:14)。これは、山上でキリストのかたちが変わった  
ことを指しています。マタイ17:2 すると、イエスは彼ら  
の前でかたちが変わり、彼の顔は太陽のように輝き、  
彼の衣は光のように白くなった。**B** 「イエスは... 彼の  
栄光を現された」(ヨハネ2:11)。すなわち、主の神性  
が現されました。**C** 主イエスは「人からの栄光を受け  
ない」で、尋ねました、「あなたがたは互いに栄光を  
受け、そして唯一の神からの栄光を求めないなら、ど  
うして私を信じることができようか?」(ヨハネ5:41,44)。  
**D** 「自分から語る者は、自分の栄光を求める。しかし、  
遣わされた方の栄光を求める者は、真実であり」  
(7:18) **1** 「私は自分の栄光を求めない。私のために  
栄光を求め、裁く方がおられる」(8:50)。 **2** 「もし私が  
自分に栄光を帰すなら、私の栄光はむなし。私に  
栄光を与えるのは私の父である」(8:54)。 **3** 「彼らは  
神の栄光よりも、人の栄光を愛した」(12:43)。**E** イエ  
スは、「人の子の栄光が現される時が来た」と言いま  
した。人の子としてのイエスの栄光が現されることは、  
彼が復活させられることでした。ヨハネ12:23 イエスは  
彼らに答えて言われた、「人の子の栄光が現される  
時が来た」。**F** 17章でイエスは言いました、「父よ、...  
あなたの子の栄光を現してください。それは、子が  
あなたの栄光を現すためです」(1)。「父よ、世が存  
在する前に、私があなたと共に持っていた栄光で  
もって、あなたご自身と共に、今私の栄光を現して  
ください」(5) **1** これはヨハネ17章における主の祈りの  
主題です。 **2** この祈りの前に主イエスが予告したのは、  
彼の栄光が現されること、彼において御父の栄光が  
現されることでした。 **3** キリストは復活して、彼の人性  
を神聖な要素へと引き上げ、彼の神聖な要素が表  
現されるようにし、その結果、彼の全存在、彼の神性  
と彼の人性の栄光が現されました。こうして、御子に  
おいて御父の栄光が現されました。**G** 主イエスは、  
私たちが最高の段階の一へと入るように祈りました。  
それは神聖な栄光における一であり、三一の神の

団体的な表現のためです:「あなたが私に与えてくださった栄光を、私は彼らに与えました。それは、私たちが一であるように、彼らも一となるためです」(17:22)。**1**これは信者たちの最も深い一、神の団体的な表現のための神聖な栄光における一です。**2**一のこの面において、信者たちは、彼らの自己が完全に否まれており、成就された一の要因としての御父の栄光を享受し、こうして団体的に建造された方法で神を表現します。**V**三一の神の具体化として、御子キリストは御父の栄光を現すことですヨハネ17:22 あなたが私に与えてくださった栄光を、私は彼らに与えました。それは、私たちが一であるように、彼らも一となるためです。**23** 私が彼らの中におり、あなたが私の中におられるのは、彼らが成就されて一となるためです。また、あなたが私を遣わされたこと、あなたが私を愛されたように彼らを愛されたことを、世の人が知るためです。**A** 栄光を現すことは出現を意味します。栄光が現されることは出現することです。**B** ヨハネ14～16章における主のメッセージの主要な点は、御子の栄光が現され、御子において御父の栄光が現されるということです:**1**主は彼のメッセージの中で、栄光が現されることについて語り、彼の祈りの中で、栄光が現されるために祈りました。**2**キリストの栄光が現されたのは、御父によって、キリストの復活の中で、神聖な栄光をもってでした。**a**「栄光が現される」は、「復活させられる」を表します。なぜなら主が復活させられたとき、主の栄光が現されたからです。彼の復活は、彼を栄光へもたらしました。**b**新約の思想によれば、復活は命における解放であり、この命における解放は、栄光を現すという事柄です。ですから、「栄光が現されること」は「復活」と同意語です。**c**今日、召会によって御子の栄光が現され、御子において、また御子を通して御父の栄光が現されます:**エペソ3:21** 神に、召会の中で、またキリスト・イエスの中で、栄光がすべての世代に至るまで、永遠にわたってありますように。アーメン。**1**栄光は神聖な命と神聖な性質の表現です。私たちが神聖な命と神聖な性質によって生きれば生きるほど、ますます召会の中に神聖な栄光があるようになります。**2**御父の栄光が現されるのは、キリストの信者たちが、すばらしい相互内在の一において、御子の中で御父と有機的に結合することを通してです。**a**私たちが一であるとき、キリストの栄光が現され、また御父の栄光が現されます。**b**ヨハネ17章における一は、御子において御父の栄光が現されるためです。この一は、実は神聖な栄光を現すことです。**3**神聖な栄光を現すことの中で、人性において三一の神の栄光が現され、神性の中で人性の栄光が現されます。

**CP1**人が神によって神のかたちに創造されたのは、人が神の栄光の中で神を表現するためである**1**神の栄光は、神のエコノミーと内在的に関係があります**C**人が神によって神のかたちに創造されたのは、人が神の栄光の中で神を表現するためです。**D**罪を犯すことは、神の栄光に欠けること、こうして罪と罪深い自己を表現すること、神の栄光よりも人の栄光を愛することです。**ローマ3:23** なぜなら、すべての人は罪を犯したので、神の栄光に欠けており、**E**キリストの贖いは、神の栄光の要求を満たしました。**3:24** 無代価で、彼の恵みにより、キリスト・イエスにある贖いを通して、義とされるからです。**25** 神はこのキリスト・イエスを立てて、なだめの場所とされました。それは彼の血により、信仰を通してであって、彼の義を明らかに示すためです。**G**すべてを含むキリストは、栄光の望みとして私たちの中に住んでいます。**コロ1:27** あなたがたの内にはキリストであり、栄光の望みです。**H**私たちは主の栄光を見つめ、そして反映するとき、栄光から栄光へ、主のかたちへと徐々に造り変えられていきます。**2コリ3:18** 主の栄光をおおいのない顔をもって、鏡のように見つめ、そして反映して、栄光から栄光へ、主と同じかたちへと徐々に造り変えられていきますが、それはまさに主なる霊からです。**I**神の建造は、三一の神が私たちの中へと造り込まれて、私たちが彼の栄光ある団体的な表現となることです。**J**新エルサレムの顕著な特色は、それが神の栄光、神の表現を持っているということです。新エルサレムの都全体(一人の団体的なパースン)は、神の栄光を帯びており、それは神ご自身が都(彼の妻)を通して輝き出すことです。**啓21:11**それは神の栄光を持っていた。その光は最も尊い宝石のようであり、水晶のように透明な碧玉のようであった。

信者として、私たちは神の栄光へと造り変えられていき、その中へもたらされます。最終的に、私たちはキリストと共に栄光化され、新エルサレムにおいて、神の表現のために神の栄光を帯びます。

神は私たちを、彼を入れ、彼を表現する器として創造されました。神は栄光へとあらかじめ用意していた彼の器である私たちに、彼の栄光の豊富を知らせられました。私たちは彼の主権によって、彼が栄光の中で何であるかを表現する彼の容器、尊い器として、あらかじめ定められました。これは新エルサレムにおいて完全に啓示されます。...新エルサレムが神の栄光に満ちているという事実は、神がこの都において現されていることを意味します。今日、召会生活も神の栄光を持ち、この驚くべき神聖な属性において神を現し、表現すべきです。

## 適用:ビジネスパーソン編

**証** 私たちが神の栄光を表現する器であることは素晴らしいです。リー兄弟は、「神の子供たちには、輝かしい祝福を伴う大いなる前途があります。神聖な性質にあずかることは、すでに大いなる祝福と享受です。しかしながら、神に似ること、神の様を帯びることは、更に大いなる祝福と享受です」(The Children of God have a great future with splendid blessing. To partake of the divine nature is already a great blessing and enjoyment, yet to be like God, bearing His likeness, will be a greater blessing and enjoyment.)と言われました。「神に似ること、神の様を帯びる」とは神の栄光を表現することです。私は救われて間もない頃、次のように考えていました、「主は私に栄光を得させるまで祝福して下さる必要はありません。少し喜びがあり、普通の生活ができればそれで充分です」。私は野心のない、無気力な人でしたので、平凡な生活があれば良いと考えていたのです。このような考えは、頑固な宗教観念であることに気づいていませんでした。

ところが、24歳で全時間奉仕を始めてから、ライフ・スタディをよく読むようになり、私のこの考え方が、宗教的であり、的外れで、不信仰に満ちており、根本的に間違っていることを理解し始めました。このような宗教的な考えは、一見謙虚なようで、実は神の主権を無視し、神に反逆しているということになります。私は祈りました、「主イエスよ、私はリー兄弟が見ている光景を見ていません。私を憐れみ、私の宗教観念を取り除いてください。神の私に対する計画、エコノミーが何であるのか、はっきり見えるようにして下さい」。また別の時には、「主よ、リー兄弟は栄光の召会について、興奮して、喜びに満たされています。しかし、私は何も感じません。リー兄弟か私のどちらかが間違っているはずです。私はリー兄弟が間違っていて、私が間違っていないとは決して言えません。したがって、間違っているのは私です。私を憐れみ、キリストと召会に関する栄光のビジョンがはっきり見えるようにして下さい」と祈りました。驚いたことに、主は私の期待をはるかに超えて、このような祈りを聞いてくださり、祈りの度にビジョンが更新され、神のエコノミーの焦点である栄光のキリストと彼のからだである栄光の召会を理解できるようになりました。その後、私はこのビジョンに従ってビジネスライフを送ったので、ビジネスライフにおいて、主の臨在と祝福を経験し、享受することができました。**祈り** おお主イエスよ、あなたは私を、ご自身を入れ、あなたの栄光を表現する器として創造されました。あなたと良く交わり、あなたの願いを知り、

栄光のキリストと栄光の召会に関するビジョンをはっきりと見せてください。

**CP2** 自己を否み、成就された一の要因としての御父の栄光を享受し、建造されて神を表現する **IV** ヨハネ福音書において、私たちは主イエスの栄光と栄光を現すことを見ることができます **G** 主イエスは、私たちが最高の段階の一へと入るように祈りました。それは神聖な栄光における一であり、三一の神の団体的な表現のためです:「あなたが私に与えてくださった栄光を、私は彼らに与えました。それは、私たちが一であるように、彼らも一となるためです」(17:22)。1これは信者たちの最も深い一、神の団体的な表現のための神聖な栄光における一です。2一のこの面において、信者たちは、彼らの自己が完全に否まれており、成就された一の要因としての御父の栄光を享受し、こうして団体的に建造された方法で神を表現します。

神聖な栄光の中にいる者となりたいたら、私たちは自分を放棄し、忘れなければなりません。もはや私ではなく、キリストが私の中に生きていなければなりません。「私」はすでに十字架につけられ、自己は否まれて、キリストが私たちの中に生きなければなりません。私たちはこの世だけでなく、自分自身も放棄しなければなりません。一方で、私たちは多くのこの世的な場所とこの世的な事柄から聖別されて、御父の家へ帰って来ました。もう一方で、私たちはそれぞれ、自分の意見、考え、理念を持っています。こういう状況であるなら、どうして一となることができるでしょうか? かつて私たちは、さまざまなこの世的な場所へと分離されていましたが、今や家に帰って来て、なおも自己に関して問題を持っているかもしれません。こういうわけで、私たちは自分の命によってではなく、栄光の命、神聖な命によって生きなければなりません。...そうすれば、この命の栄光の中で、私たちは一であるでしょう。

私たちは自分を否むことによって、成就されて一となるまでに、神聖な命を経験することができます。もし兄弟たちが召会生活の中である日、互いに議論し討論して、次の日、互いに告白し謝罪するなら、それは彼らがまだ成就されて一となっていないことを意味します。「私」は十字架につけられており、自分は神聖な栄光の命によって生きているという十字架の事柄を完全に認識する日、それは、彼らがみな成就されて一となる日であるでしょう。その日には、自己も意見もないので、彼らはもはや討論したり争ったりしません。その時、彼らは成就されて一となります。...私たちはこの点に達するとき、一の最高水準において、信者たちに

与えられた神聖な栄光によって成就されて一となり、団体的に三一の神を表現するでしょう。

適用:青少年・学生、新人編

**証1**私は子供が小学生の頃、台湾の親子健康生活園という親子の合宿に参加しました。毎日、すべての活動が終わって子供たちが寝る頃に、奉仕者たちは一つの部屋に集まって祈り、その日の活動を振り返って交わりを持っていました。私もその交わりに参加させてもらいました。夜も遅いのですが、祈りは強く、交わりは簡潔ですが真剣で、開いており、聖霊が流れている感覚がありました。奉仕者はみな負担があるので、いろいろな意見や提案も出ますが、採用されなかった意見や提案はすぐに十字架につけられて、どこにもモヤモヤした後味がありませんでした。毎回甘いアーメンにもたらされ、一の中に保たれている感覚がありました。この交わりの光景を見て強い印象が残りました。私は自分の関心のないことに関してはあまり意見がないのですが、いったん関心を持ち、負担を持つと、自分の意見、考え、理念が強くなってきて、固執する傾向があります。自己を否み、それらを十字架につけて、成就されて一となるまで、神聖な命を経験したいです。

**証2**最近、全時間奉仕の姉妹たちと奉仕や福音で取り組んでもらう機会が増えました。姉妹たちと時間を共有するなかで、自分では無理と決めつけていたことが照らされ、悔い改めて突破する経験を少しずつ持つようになってきました。9月初めにある奉仕で本山集会所に行っていた時、11月の台湾訪問に行ったらどうか、と海花姉妹が私を突然誘ってくれました。私は自分の状況では行けないと思い込んでいたので全くそのつもりがありませんでした。行けない理由を言いましたが、交わっているうちに行けるかもしれないと思い始めました。それでもスケジュールが他の兄弟姉妹と違って、行きだけ自分一人で行くことに不安を感じていることを伝えたら、佳穂姉妹が「今はWi-Fiがどこでも繋がり、すぐに連絡できるので大丈夫ですよ！」と言って励ましてくれました。私は帰宅の道中、頑固な自分を悔い改め、主を享受して、帰宅後すぐに航空チケットを購入しました。この他にも姉妹たちを通して、からだの動きの中へと巻き込んでもらうことをたびたび経験しました。私自身、自己を否んで姉妹達から学ぶ者となることができますように。**祈り**おお主イエスよ、神聖な栄光の中にいる者となるために、私は自分を放棄し、忘れる必要があります。自分の命によってではなく、栄光の命によって生き、この命の栄光の中で一となることができます。

## 1. 福音集会の順番:

11/10: 夙川、11/17: 神戸、11/24: YP(本山)、12/1: 三宮、12/8: 本山南、12/15: 六甲、12/22: YP(王子公園)、12/29: 合同@魚崎

## 2. 11月のスケジュール:

- 11/16 Bookフェア@東大阪
- 11/20-25 ニュージーランドのBS神戸訪問
- 11/23 関西・四国・東海BLD集会@魚崎